

議会だより

平成26年4月臨時会・6月定例会版



初夏の風に（鬼城山ビジターセンター）

©河合眞作さんの版画シリーズ③

主な内容

4月臨時市議会・6月定例会市議会	2ページ
6月定例会市議会一般質問	4ページ
委員会活動報告	11ページ
第5回議会報告会の結果	13ページ
政務活動費の公表	15ページ

美術博物館整備基金に

1000万円

消防無線デジタル化の契約締結も可決

4月臨時市議会

4月25日、臨時市議会を開き、官製談合防止法等違反事件を受けて、「総社市再出発制度改革委員会」を設置する条例を全会一致で可決しました。

6月定例会市議会

6月定例会市議会を6月2日から20日までの19日間の会期で開きました。(審議結果は左のページのとおり) また、請願1件、陳情1件の審査をしました。(下表のとおり)

市美術博物館施設整備事業基金を創設

総社市美術博物館の整備に要する経費に充てるため、条例を制定して、基金を創設しようとするものです。条例に基づき、年度ごとに基金への

積み立てを行い、施設整備に充てます。

市火災予防条例を一部改正

催し参加者の安全を確保

縁日や花火大会など、多数の人が集合する催しで火災が発生した場合、重大な被害が発生するおそれのあることから、消火器の準備及び火災予防上必要な業務に関する計画書の作成などを義務付けし、催しへ参加する人の安全を図るため、総社市火災予防条例の一部改正を行うものです。

平成26年度一般会計補正予算

主なものは、豪溪の公衆トイレ改築工事費用に3700万円、秦・富原地区の浸水対策のため富原排水機場の増設に8400万円、山手小学校の児童増加に伴う常設教室の

設置に7450万円、昭和出張所の移転解体経費3700万円、臨時福祉給付金の高齢基礎年金受給者などに対する加算分支給の経費2151万円、小児医療費の削減の成果の一部を子育て王国そうじゃ基金へ積み立てるもの762万円などで、全て全会一致で可決しました。

消防無線のデジタル化契約

消防救急デジタル無線システム整備業務の委託について、入札の結果、日本電気(株)岡山支店が5億3568万円で落札し、委託契約の締結について、全会一致で可決しました。

清音神在本線工事請負契約の契約額を変更

清音神在本線改良(上部工)工事で、賃金等の急激な変動に対処し、工事費に増額が生じることから、工事請負変更契約を締結するもので、全会一致で可決しました。

交通事故に伴う和解及び損害賠償の額を決定

山田地区農業用パイプライン管理瑕疵による交通事故について、和解及び損害賠償の額を定めるもので、全会一致で可決しました。

市農業委員会委員の任期が本年7月19日で満了するため、関係法令に基づき議会から犬飼和子氏、野瀬秀子氏、植田忠晴氏、小野成章氏の4名を推薦しました。任期は平成29年7月19日までです。

請願・陳情の審査結果

件名 (不採択の理由)	結果
日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願	採 択
総社市官製談合事件究明のために百条委員会設置を求める陳情書 (既に警察が捜査しており、事件が未だ公判中であるため。また、官製談合再発防止調査特別委員会を設置し、再発防止に向けた8つの提言を行っており、その提言の進捗状況等を見極めることにしているため。)	不採択

平成26年4月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	付 議 事 件	結 果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成25年度総社市一般会計補正予算(第7号))	承 認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例の一部改正)	承 認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部改正)	承 認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(総社市国民健康保険税条例の一部改正)	承 認
議案第35号	総社市再出発制度改革委員会設置条例の制定について	原 案 可 決
議案第36号	平成26年度総社市一般会計補正予算(第1号)	原 案 可 決

平成26年6月定例会総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	付 議 事 件	結 果
報告第2号	繰越明許費について(平成25年度総社市一般会計)	報告を受けた
報告第3号	繰越明許費について(平成25年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算)	報告を受けた
議案第37号	総社市美術博物館施設整備事業基金条例の制定について	原 案 可 決
議案第38号	総社市老人医療費給付条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第39号	総社市社会福祉事務所設置条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第40号	総社市小児医療費給付条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第41号	総社市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第42号	総社市心身障害者医療費給付条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第43号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原 案 可 決
議案第44号	総社市営住宅管理条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第45号	総社市火災予防条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第46号	平成26年度総社市一般会計補正予算(第2号)	原 案 可 決
議案第47号	平成26年度総社市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議案第48号	委託契約の締結について	原 案 可 決
議案第49号	工事請負契約締結の変更について	原 案 可 決
議案乙第3号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書について	原 案 可 決

賛否が分かれた議案等に対する賛否状況

【凡例】○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席

議案等	議員名	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	片岡茂夫	塩見禎章	名木田正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	荒木勝美	山口久子	大熊公平	西森頼夫	議決結果
陳情第2号	総社市官製談合事件究明のために百条委員会設置を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	退	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択

・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

9月定例会市議会の予定

日 時	内 容
9月 1日(月)	開会
9月 4日(木)	一般質問
9月 5日(金)	一般質問
9月 8日(月)	一般質問・質疑
9月 9日(火)	委員会
9月10日(水)	委員会
9月11日(木)	委員会
9月12日(金)	委員会
9月19日(金)	閉会

問い合わせ 議会事務局 TEL92-8332

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。
各月の執行状況については、議会事務局及び市議会のホームページ(<http://www.gikai.city.soja.okayama.jp/>)でご覧になれます。

【平成26年4～6月分】

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
お 供	4/21	10,000	津山市議会副議長の実母香典
	6/2	10,000	元岡山県知事の配偶者香典
	6/10	10,000	元総社市議会議員香典
	6/10	10,000	元総社市議会議員生花
	6/24	5,000	元総社市教育長の配偶者香典
激励金	4/20	10,000	第61回岡山県消防操法訓練大会 出場分回激励慰問金
土産等	6/28	8,343	行政視察先(議会運営委員会)
	6/30	6,660	行政視察先(建設消防委員会)
議長賞	6/8	5,400	第68回全日本アマ将棋名人戦・ 一般将棋総社地区大会
合 計	-	75,403	-
4月からの累計	-	75,403	-



《小西 利一》

官製談合事件について

問 指名入札及び随意契約は規程どおり行われているか。

答 今までは、入札参加者の選定で、市内業者については規程より早く参加の機会を与えていたが、その運用を見直す。

問 職員アンケートで、一割以上の人が「不当要求を受けたことがある」と答えている。今後の対策はどうか。

答 基準を作り、おかしいものは公開する制度を新たに設ける。

問 不当要求について「担当者が出れば何でも上層部でひっくり返る」との記述があったことは、今回の談合事件の最大要因と考えるがどうか。

答 あつてはならないこと、絶対だめなことであるから、この質問をきっかけに改めていく。

問 職員の健康への意識、特に、喫煙に対する意識が低いと思われるがどうか。

答 7月1日から、週2日、月曜日と火曜日を公共施設、全庁舎全面禁煙とする。

問 公用車での喫煙は、市民の目から見ても不適切と思われる。禁止すべきではないか。

答 公用車は全て禁煙車両とする。



世界禁煙デー啓発リーフレット



《赤澤 康宏》

市長の政治姿勢について

問 東京などへの出張が多い。岡山県を飛び越え過ぎではないか。

答 出張先では、分刻みで様々な方と会い、総社が良くなるように相談している。県知事へは、2人の県議会議員と共に要望等を行っている。良好なつもりである。

問 市長の考えた政策や施策で、予測的におかしくなっていると、審議会や委員会を設けている。責任転嫁ではないか。市長として、いつ、何に責任を取るのか。

答 私は逃げていない。市民の皆さんに良い政策でも、予算等、予想を超えるなら、皆さんの判断に任せたい。決し



総社市再出発制度改革委員会

て目立つ事だけを重視していない。真剣に総社市を思っている。

問 官製談合の問題が起きて、半年が過ぎた。新たな思いがあるか。

答 一連の調査報告等を重く受け止め、審議し、市民目線で考え、総社市の再出発ができるように考える。

問 膿を出し切ると言うが、今の体制でできるのか。また、減給以外の責任は取るのか。

答 私は辞めない。事件の原因を究明し、二度とこのような問題が起こらないように改善することが私の現時点の使命だと思っている。



《西森 頼夫》

職員の処分について

問 文書訓告3人、嚴重注意4人は、契約管財課と土木課に所属している管理職だ。処分の対象になった理由は何か。

答 官製談合に関係している部署の者を管理監督責任などにより処分した。

問 関係する部署に所属しているだけで処分するのか。しかも、昇格可能な者が全員昇格している。処分した上で昇格させるのは、どんな理由か。

答 通常の昇格ではなかった。反省している。

副市長の言動について

問 2月議会最終日の休憩時間に、副市長が議員控え室に入室し、議場での議員の発言



岡山地方裁判所

官製談合について

に対して声を荒げた。議員の発言を何と心得ているのか。反省しているのか。

答 軽率な行為を反省しており、お詫びする。今後、このようなことをしないように気をつける。

問 裁判の公判を傍聴した。元市嘱託員の証言は、「副市長の『ええようにしてやれ』との意向を元建設部長に伝えた。」とあり、元市建設部長の証言は、「元市嘱託員と行動を共にし、工事価格を教えた。」などであった。副市長の名前が出ているがどうか。

答 2人からの相談はなかった。価格を言えとか教えろとか言っていない。



《大熊 公平》

官製談合事件について

問 事件の全容説明をどう行うのか。

答 行政としては、まず第三者委員会へ、求められる資料を全て出し、それを議会・市民へ出す。

問 公判で副市長の名前が出ていたがどうか。

答 指示は一切していない。

問 副市長を信じている。

答 事件の背景について、どのような認識を持っているか。

答 長い歴史とか様々な背景があるし、組織そのものが金属疲労を起こしていたと思う。

日本創生会議が発表した2040年の試算について

問 試算についての見解はどうか。

答 消滅しない市だと言われているのでほっと一息している。

問 人口増加へ向けての重点的な施策はどうか。

答 間違いなく企業誘致だ。正規雇用をお願いしている。子育て、老後などライフステージに合った弱者対策を行う。

問 自主避難など移住者が増えている。支援策はどうか。

答 特別な対策は難しいが、住居など要望があれば整合性が取れる範囲で行う。

問 定住化策への制度設計はどうか。

答 定住特区について考えているところだ。

問 行政の行う婚活はどうか。

答 秋に婚活パーティを行う予定である。



《深見 昌宏》

商店街の古民家の利用について

問 堀和平邸の保存について、将来のビジョンはどうか。

答 貴重な財産であるが、維持管理に相当なお金がかかる。将来のことを考え、ソフト、ハード両面で考えていきたい。借り手があれば、どんどん貸し出したい。

(市長)



商店街の堀和平邸

福祉施策について

問 第6期介護保険事業計画

における特別養護老人ホームの待機者の数、そして、今後の計画についてはどうか。

答 平成25年7月1日時点で、要介護3以上の待機者は1088人である。今後の整備計画は、平成26年7月1日に新しい数字が出てから考える。

(市長)

教育政策について

問 総社小学校の建て替えについて、将来のビジョンはどうか。

答 平成27年度までに制度設計を考え、合併特例債の期限である31年度までに建て替えたいと考えている。運動場が狭いので、高層建物を検討し、運動場を広く取る必要がある。

(教育長)



総社小学校(南館)



《片岡 茂夫》

砂川公園の施設について

問 今夏、ウォータースライダーは使えるのか。また、対策はどうか。

答 水量確保のため新たな水脈を求めて掘削したが、だめであった。水道水を検討したが、コスト面で問題がある。これからいろいろな手法を考えていく。

(市長)

問 公園内のトイレを水洗に改修してはどうか。

答 トイレをきれいにするのは政策である。砂川公園のトイレは、水洗にすべきだと思っている。下流域の調整がつけば、合併浄化槽などの水洗トイレにしていきたい。

(市長)



砂川公園のウォータースライダー

地域の安全安心について

問 久米、黒尾地区の児童の通学路の舗装の修理、対策はどうか。

答 この通学路は農道であるので、地元負担金の問題が発生し、地元関係者との調整が必要になる。

(市長)

問 倒壊寸前の建物の診断をしてはどうか。

答 成年後見制度があり、後見人の方と相談して、建物を倒して、さら地にした例もある。地域の方々と相談しながら、ていねいに解決にあたる。

(市長)



《根馬 和子》

認知症の実態と対策について

問 市内の認知症患者はどれくらいいるか。また、実態調査はどうか。

答 実態調査はできていないが、全国平均からみると予備軍を含め2600人くらいだ。

(以下市長)

問 医療機関に掛かっている人はどのくらいいるか。

答 全体はつかめていない。約1000人いると思う。

問 今後、認知症患者を地域の中でサポートすることが重要になってくる。どのように対応するのか。

答 市の検診での早期発見、認知症サポーター養成講座、サロン事業、地域包括支援セ

ンターなどでの家庭サポートの仕組み作りに努める。

子育て政策について

問 「子育て王国そうじゃ総社子プラン」の実効性はどうか。

答 出生数は年間560人くらいでプラスとなっている。発達障がいの子どもも増えているので、育児不安解消への取組を充実させる。保育事業では、将来推計に誤差があり待機児童が生じているが、解決へ向け努力する。

問 多文化共生への取組の評価はどうか。

答 一時は1300人くらいいたが、今はブラジル・ペルー・中国など24か国723人だ。相談員を2名配置、支援しているのの効果はある。

問 子どもには守るべき規範意識があり、それを「こども宣言」として出しているかどうか。

答 子どもも議会で討議すればよいと考える。



《萱野 哲也》

近年の投票率の低下について

問 若い世代の投票率が上がれば、市長の政策に影響を及ぼすか。

答 若年層からの統一した意見であれば実行に変えていく。

(市長)

問 世代間で政策の受益格差が広がっている。どう思うか。

答 若い世代の声を取り入れる仕組み作りをしていかなければならない。

(市長)

問 子育て世代、特に、女性の声を聞いてほしい。

答 どんどん聞いていく。

(市長)

子育て王国について

問 幼稚園や小学校付近の道



(教育次長)

問 全ての箇所の安全整備ができないのは分かるが、対応できない理由や進捗状況を学校や幼稚園、保護者に説明してほしい。

答 対応していく。

問 整備されなかった箇所の対応はどうか。

答 我々の最優先課題であり、通学路等の危険箇所は国・県・警察等の関係部署へ要望をしている。

(教育次長)

問 引き続き、早期改善の要望を関係部署にしている

答 全ての箇所の安全整備が

(教育次長)



《頼宮美津子》

認知症対策について

問 介護認定を受けた時点で、その後のケアがスムーズにくよう「お支えノート」などを作ってはどうか。また、認知症の理解拡大のため、出前講座もしてはどうか。

答 いい案だと思うので、検討したい。(以下市長)

予防接種事業について

問 予防接種は、疾病予防・医療費抑制にも効果がある。更なる継続と拡大が必要だが、財政的にどうか。

答 この事業の必要性は十分認識している。費用的には医師会と協議した上で決めたいし、拡大も含めて検討したい。

多文化共生について

問 外国人登録率の高い総社市として、共生に向けて地産地消・観光・総社市民との共生も踏まえて外国人の居場所作りを考えてはどうか。

答 以前うまくいかなかった事例もあるので、慎重に進めていきたい。

ファシリティ・マネジメントについて

問 人口推移や今後の財政を考え、公共施設を含む公有財産の適正化を進めるファシリティ・マネジメントに早期に取り組むべきと考えるがどうか。

答 喫緊の課題だと思う。検討してみたい。



認知症理解のパフレット



《小川進一》

ホームページのリニューアルについて

問 リニューアルの評価・反響はどうか。

答 リニューアルに約1700万円かかった。アクセス数は増えている。外国語翻訳機能も付加している。(市長)

問 総社に住みたいと思わせる工夫はしているのか。

答 弱者にやさしい政策を発信している。これから定住特区制度をスタートさせたい。空き家情報も現在1軒だが充実させたい。(市長)

問 保育所の入所可能人数など行政の持つデータをホームページに掲載するには、どのようにしたらよいか。

答 知ってほしい情報は、常

に更新している。情報があれば、追加で公表することは可能である。(市長)

子育てについて

問 保育士登録制度が5月にスタートしたが、現在の状況はどうか。

答 現在のところ1名の登録である。徐々に増やしていきたい。(市長)

問 寡婦控除の「みなし適用」について、対応はどのように考えるか。

答 非婚・既婚にかかわらず、当市でも対応していく。(市長)



刷新された総社市ホームページ

※答弁に誤りあり。実際の事業費は約1200万円。



《名木田正昭》

官製談合事件について

問 事件が発生した最大の理由は何であったかと思っている。

答 職員の気の緩みとなれ合いに、私自身が気付けなかったことと、上司が指摘できなかったことに尽きる。(市長)

問 第三者委員による諮問委員会が審議中であるが、答申が出た後は、問題はなくなるかと考えているか。

答 完全にそうなるとは言えないが、より心して全職員で頑張っていく決意だ。

問 再発防止は簡単ではない。建設業界の意見をもっと取り上げ検討していく必要があると考えるがどうか。

(市長)

答 市民感情を考えると現時点では無理だが、意見は聞くべきであると思っている。

問 当分の間、指名する業者は、問題のない地元総社市の業者のみでやっていくべきと考えるが、どうか。(市長)

答 そのように実行していくよう検討したい。(市長)

アベノミクスの副作用と弱者対策について

問 アベノミクスの副作用はどのように考えているか。

答 業界での問題と市民での問題があり、国の施策を見ながら、総社市流に考えていくつもりである。(市長)

問 今こそ、副作用に起因する社会的弱者や生活困窮者の対策を考えていただきたい。

答 消費税増税問題が大きい。必要に応じた対策を考える。(市長)



《岡崎亨一》

ICT活用について

問 公共データを民間活用していたために、加工可能なデータを公開してはどうか。

答 公開性・透明性の上からやっつけていこうと思っている。守秘義務以外のところは出していく。(市長)

期日前投票の改善について

問 期日前投票入場券裏へ宣誓書を印刷し、投票前に事前記入してもらってはどうか。

答 システム変更に多大な費用がかかる。市ホームページでダウンロードできる宣誓書での対応をお願いしたい。(以下選挙管理委員会委員長)

問 投票に行きやすくするた

め、期日前投票所を増設してはどうか。

答 必要性は感じているが、施設、職員、システムの面から増設は困難である。総務省では2年後までに、選挙当日も含めてどこでも投票できる環境を目指している。その動きを研究していきたい。

緊急通報について

問 障がいのある方の緊急通報の方法はどうか。

答 聴覚障がいのある方は、火災・救急通報の内容を用紙に記入していただき、ファクスで連絡をもらうようにしている。(以下消防長)

問 障がいのある方の緊急通報置き去り問題について、本市の対策はどうか。

答 今回の問題を受けて事故防止の徹底を行った。署員全員が定期的に緊急通報システムの研修を行っている。用紙の記入内容も、より分かりやすいものに改善したい。



《加藤 保博》

吉備路マラソンについて

問 2月議会の答弁で、来年からの運営について一貫性が見受けられなかった。その後の考えはどうか。

答 募集人数を1万5000人に下げる。がむしやらな募集方法も控える。(以下市長)

問 献身的なボランティアの方には頭が下がる。いつまでも頼んで協力が得られるとは限らない。もっと謙虚に対応するべきと感じるがどうか。

答 この大会はその方たちのおかげで成り立っている。今後お願いをしなくてはならず、心から感謝をしている。来年からは、吉備路マラソンを走らずに裏方に徹する。

問 人数にこだわらず、内容

優先とは何を考えているのか。

答 種目を減らすことも視野に入れているが、車椅子マラソンの開催を含め、各方面と現在協議中である。

問 締切日を早め、健全な運営のために時間を増やすことが重要と思うがどうか。

答 それも考えている。

健康づくりについて

問 事業推進に当たり、本市の保健師の数では十分な対応ができていないと思えない。増員が必要ではないか。

答 今後の事業計画を考えると足りない。何とかしなくてはと苦慮しているところだ。

問 口腔ケアこそ健康の源であると考える。本市には歯科衛生士がおらず、採用の必要があると思うがどうか。



健康診断の様子

答 前向きに検討したい。



《難波 正吾》

官製談合事件について

問 前代未聞の不祥事だ。公判の傍聴では、生々しいやり取りを目の当たりにしてきた。既に職員の処分は下され、2人は退職金を失い、社会的制裁、経済的損失は大きい。職員へのアンケート結果では、以前からの慣習、公務員としての自覚の欠如、上司に相談できないなどの回答があり、上からの圧力に抵抗しきれない、という点は裁判の証言にもあった。見解はどうか。

答 私の責任、自戒の念をもってお詫びしたい。私の禊を含めて第三者委員会に負託した。過去を洗いざらい出し、新生総社市を築く。(市長)

答 市民、職員の皆様に申し

訳なく慚愧に耐えない。不祥事を絶対起こさぬよう、肝に命じて市政のために渾身の努力をいたす。(副市長)

教育行政について

問 教育委員会委員長をなくし、首長任命の教育長が教育委員会のトップとなる国の教育委員会制度の改革に対しては「政治家が教育の内容をゆがめない歯止めが必要」との世論もある。政治がすべきことは教育条件の整備、やっではないのは教育内容への介入だ。見解はどうか。

答 権限を持つ首長が何をやってもよいわけではない。教育長とよく相談し、その場限りでなく普遍的に行う。(市長)

答 横断的に行政との連携が必要。非常勤では限界がある。(教育委員会委員長)

答 今は権限と責任が分断されている。今後は有効に機能する可能性がある。(教育長)

総務文教委員会

当委員会が審査した議案2件及び請願1件は、いずれも原案・請願どおり可決・採択しました。

主な内容は次のとおりです。

◎総社市美術館施設整備事業基金条例の制定について(議案第37号)

問 第2条に「毎年度積み立てる金額は一般会計歳入歳出予算で定める」とある。その年の財政状況で決めるのか、今年度の一千万円を基準として考えるのか。

答 今回は一千万円を積み立てるが、今後は、財政状況をみて考えていきたい。

問 市民の意見を聴くために、検討委員会等を設置したり、期限を定めた計画を策定したりするべきではないか。

答 いつまでに建設するか、明確には答えられない。市民やキーマンとなる人の意見を聴く機会を用意し、どのよう

な形で計画策定を進めるか検討し、取り組んでいきたい。

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第2号)

《補正予算の主な内容》

- ・美術館施設整備事業基金積立金
- ・山手小学校に常設のプレハブ教室を設置する経費

問 山手小学校に設置するプレハブ教室の規模、完成時期はどうか。

答 2階建て各階2教室の計4教室で今秋完成予定である。

問 総社吉備路文化館の予算も計上されているが、案内板が古く、分かりにくい。また、2階展示室など今後の活用方法をどう考えているのか。

答 新しい案内板設置の準備も進めている。今後は、市や文化振興財団所蔵の作品について、テーマ等を決めて展示する。

厚生委員会

当員会で審査した議案7件

は、全て原案どおり可決しました。

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第2号)

《補正予算の主な内容》

- ・小児医療費の削減の成果の一部を子育て王国そうじゃ基金へ積み立てるもの
- ・昭和出張所の移転解体経費
- ・生活安全業務嘱託員経費
- ・臨時福祉給付金の老齢基礎年金受給者等に対する加算分支給経費

問 臨時福祉給付金の申請漏れ防止の対策はどのように考えているのか。

答 税務部局と調整し、申請漏れがないよう対応したい。

産業水道委員会

当員会で審査した議案2件は、全て原案どおり可決しました。

◎和解及び損害賠償の額を定めることについて(議案第

43号)

山田地区農業用パイプライン管理瑕疵による交通事故の和解及び損害賠償額を定めるため議決を経るものです。

問 損害額の査定及び交渉は誰が行ったのか。

答 相手方加入の保険会社が委託した弁護士が査定を行い、その弁護士と市が交渉した。

問 賠償額が変更になることは絶対にならないか。

答 弁護士職印が押印された確認書を交わしている。

●平成26年度総社市一般会計補正予算(第2号)

《補正予算の主な内容》

- ・豪溪の公衆トイレ改築工事費用に伴うもの

問 改築内容はどうか。また、完成予定はいつ頃か。

答 鬼城山ビクターセンターのトイレと同様の循環型浄化槽で、今秋に間に合わせたい。

建設消防委員会

当員会で審査した議案5



官製談合への議会の対応を説明

5月17日、18日の2日間、総社市内の公民館・分館（7会場）に計139人のご出席をいただき、議会報告会を開催しました。平成24年から始めた議会報告会は、今回で市内公民館・分館を一巡したことになります。

第5回となる今回の議会報告会では、

①平成26年度の総社市一般会計当初予算

官製談合に多くの意見 第5回議会報告会 139人が出席

開催日時・場所と出席者数

月日	時間	場 所	出席者数
5月17日(土)	10:00～11:30	中央公民館総社分館 昭和公民館	18人 19人
	14:30～16:00	東公民館三須分館 西公民館山田分館	8人 26人
5月18日(日)	10:00～11:30	中央公民館浅尾分館	23人
	14:30～16:00	東公民館阿曾分館 西公民館神在分館	25人 20人

②官製談合事件の再発に向け、議会が提言した8つの施策について議員が説明したあと、議会や市政について、質疑応答、意見交換を行いました。

【議会への意見・質疑】

問 今回の官製談合問題について、議会は引き続きどのように取り組んで行くのか。

答 再発防止調査特別委員会です。示した8つの提言が実行さ

れているかをチェックする。

問 再発防止への提言については理解できたが、関係者の責任はどう取られたのか。

答 事件に関わった職員3名は懲戒免職と解雇となっている。市長においては減給20%を6か月、副市長は減給20%を4か月とする給料減額特例条例を議会が可決している。

問 事件に関わった業者に対する罰則が軽いのではないのか。

答 特別委員会が提言した8つの施策の中に罰則強化を盛り込んでおり検討されている。

問 市が立ち上げた第三者委員会は、市長に近い者で構成されている。市外からも委員を入れるべきではないか。

答 第三者委員会のメンバーは市長提案で、第1回会議の直前までメンバーが知らされていないかった。

問 地方自治法に基づく百条委員会がなぜ設置されないのか。

答 今回の事件では既に警察

の捜査が行われ逮捕者まで出ている。更に、今は裁判中で、司法に委ねられたところである。百条委員会を設置して調査する状況よりも進んでいる。

問 議員定数を減らすべきではないか。

答 市民アンケートでは、多いと思うと回答した人の割合が52%だった。今後、議論する。

【市政に対する意見・質疑】

問 なぜ一括交付金制度が必要なのか。

答 少子高齢化社会が進み、



西公民館山田分館

委員会の動き

■厚生委員会

5月12日、放課後児童クラブ（「常盤たんぼ児童クラブ」「総社ひまわり児童クラブ」）の2箇所を視察しました。各児童クラブでは、現状と課題について運営委員、指導員から、お話を聴いたり、狭い施設内で多くの子どもたちが動き回っている様子などを見学したりしました。



総社ひまわり児童クラブで厚生委員会委員

放課後児童クラブの充実については、厚生委員会で継続して調査していきます。

■産業水道委員会

4月25日、観光地の公衆トイレ（豪溪、宝福寺、作山古墳、国分寺）の清掃状況等について現地視察を行いました。特に、豪溪では、このたびのトイレの改築計画について現地を確認、また、各地のトイレの清掃状況について市の担当者から説明を受けるなどしました。産業水道委員会では、観光施設の整備について、継続して調査していきます。



産業水道委員会では観光地のトイレの状況を視察

■官製談合再発防止調査特別委員会

6月20日、官製談合再発防止に向けて特別委員会が調査し、市に対し提言した8つの施策の進捗状況を調査しました。片岡市長は、第三者を委員とする総社市再出発制度改革委員会に官製談合防止対策等について諮問しており、議会特別委員会では、その答申結果や市の対応策について、継続して調査していきます。

件は、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

◎平成26年度総社市一般会計補正予算（第2号）

《補正予算の主な内容》

- ・富原排水機場のポンプ2台の増設とこれに伴う運転電気盤の更新等に係る経費

問 市費のみで整備するには、負担が大き過ぎるのではないかと。また、今から着工して水害時期に間に合うのか。

答 計4台のポンプを稼働させるには約1億6000万円かかる。そのうち8400万円を本市、残りを岡山県が負担するため、全体では本市負担分は約半分で済む。来年の雨季までに整備するため、補正予算を計上し、早急に事業に着手したい。

●委託契約の締結について（議案第48号）

総社市消防救急デジタル無線システムの整備について委

託契約を締結するものです。

問 現在のシステムに加え、他社のデジタルシステムを導入すると経費増や機械的障害のおそれがあるため、入札を辞退した業者が多かったと聞いている。今後も競争原理が働かないと危惧されるがどうか。

答 現在のシステムの一部は国の臨時交付金を受けて整備して間もない。このため、同箇所の更新は認められず、互

換性のある同一メーカーによるシステム整備となっている。

●工事請負契約締結の変更に
ついて（議案第49号）

清音神在本線改良（上部工）工事で、賃金等の急激な高騰により工事費が増額するため、工事請負変更契約を、議決を経て締結するものです。

問 インフレスライドとは、どのようなものか。また、これには労務費だけでなく材料費も含まれるのか。

答 インフレスライドは、東日本大震災の復興事業での入札不調等を踏まえ、平成24年当時、被災3県に対してインフレスライドを適用してもよいという通知が国から出ている。それ以降、徐々に労務単価が上昇したため、適用が全国に拡大され、本市でもこれを採用した。また、対象単価は、労務費、特殊な材料を除く材料費のほか、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等も対象となる。

総社市議会では、市議会基本条例（平成25年6月18日制定）に、「政務活動費の収支報告書は、積極的に公表しなければならぬ。」（第20条第2項）と定めています。ここでは、政務活動費の内容と議員ごとの政務活動費の内訳を紹介いたします。（各議員の政務活動費収支報告は次ページに掲載）

公表します！ 政務活動費の使い道

調査や研究で議員の資質を向上

総社市議会政務活動費の交付に関する条例第5条により、政務活動費として支出できる経費が決められています（下表のとおり）。市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進のために必要な経費として充てることができ、その管理は、議員個人で行い、使用に当たっては厳正で明確にしています。毎年収支報告を行うことが義務付けられています。

なお、政党活動、選挙活動、後援会活動、私人としてのプライベートな活動のための経費には使えません。

交付額及び交付の方法

政務活動費として交付される額は、月額2万5000円。報酬とは別に12箇月分として年間30万円が年度始めにまわって交付されます。ただし、市議会議員選挙の年は、前期と後期に分けて交付され、年

度途中に新たに議員になった者に対しては、当該月数分が交付されます。（昨年の選挙に伴う初当選議員6名に対しては、6箇月分の15万円が交付されています。）

収支報告書等の提出

年度終了後には、全ての金額の領収書等を添えて、収支

報告書を提出することが義務付けられています。

政務活動費の返還

年度終了後、残額が生じた場合、残額は全額返還しなくてはなりません。

具体的な活用事例

政務活動費の具体的な活用事例は次のとおりです。

項目	内容	主な例
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費	講師謝礼、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費	広報紙・報告書等印刷代、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費	資料印刷代、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等
要請・陳情活動費	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費	資料印刷代、文書通信費、交通費、宿泊費等
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費	会場費、資料印刷代、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	印刷製本費、翻訳代、事務機器購入・リース代等
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費	給料、手当、賃金等
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費	事務所の賃借料、維持管理費、備品、文書通信費、事務機器購入・リース代等

自治体財政が厳しくなる中、地域への補助金は、実状に合った利用がますます必要となってくる。使い道の決められた従来の補助金制度でなく、地域で話し合って決める自主自立型の補助金による地域作りが必要となってくる。

問 そうじゃ吉備路マラソンの費用対効果はいかがか。

答 経済効果はある。ただ、このマラソンは地域手作りマラソンという位置づけで、経済効果だけでは表せない重要な面もある。

問 市の財政に貯金がたくさんある。これを借金の返済に回せばよいのではないか。

答 市の貯金（いわゆる基金）は、その多くが利用目的を定めて積み立てている。計画性をもった財政運営の必要性があるからだ。また、合併特例債のような返済期間が決められたものがあり、これは使途を変更できない。

問 昭和地区、山田地区の一

部には英語特区を取り入れた。どこの地域でも取り入れてもらいたいと思うがどうか。

答 英語特区は文科省担当者からもすばらしい取組だと賞賛された。地域活性化のひとつの方法として大いに期待している。地域に特化した取組と理解していただきたい。

問 現在、小・中学校の耐震工事が進められている。市役所や市民会館はどうなっているのか。

答 市役所の本館は耐震化の対応がされていない。今後、基金を積んで耐震・建て替えを検討していく。大規模災害時には、消防署を対策本部とする。市民会館も一部で耐震化ができていない。

◆

以上、議会や談合事件、市政に対して、意見が次々に出る議会報告会となりました。また、他にも地域要望、意見なども多く寄せられました。

○井山宝福寺に向けて、朝の

通勤時に通り抜けの車が多々ある。通学生徒に危険だ。朝の時間帯に進入制限を設けてほしい。

○高梁川の土手が路面舗装された。しかし、進入禁止のチェーンが張られている。歩行者や自転車を通れるようにしてほしい。

○商店街にレトロな防犯灯を付けると聞いている。早く対処してほしい。

○市で行われる水道工事で、道路の安全対策が不十分だ。業者には徹底してもらいたい。

○下水道事業の進行が遅い。

○市役所の公用車が多すぎる

などについて、市民の皆さんと議員とで意見交換がなされました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、担当の委員会で調査したり、当局へ提言したりしていきます。

○正木山のトレイルランに、もっと予算を付けてほしい。

○清音神在本線の真備ルートへの計画を継続させてほしい。

○子どもの自転車事故が多発している。市として、自転車保険の加入を促進させるべきだ。



西公民館神在分館

のではないか。効率よく使えば、少なくとも済むのではないか。

○地域に待望の信号機が設置された。議会や市役所の長年の努力のおかげだ。

○議員は、もっと各種イベントへ参加するべきだ。

○そうじゃ吉備路マラソンのコースを見直すべきだ。

○マラソンに市長が参加するのはパフォーマンステロルとしか見えない。



全ての領収書等の提出が義務付けされている

・研修費・・・大阪市で開催された「議会改革集中講座」に出席し、議会基本条例の意義と役割や、議員報酬の問題点などの研修を受講。川崎プレーパーク（新形態の子どもの遊び場）の視察実施

・広報費・・・議員活動の報告ビラ等の作成

・資料購入費・・・「地方議員ハンドブック」や「議会人が知っておきたい財務の知識」などの書籍の購入

いずれの項目についても、議員活動のために要する経費に限られているため、政務活動とは関係ない費用は、その経費を按分するなどしてプライベートな経費と区別しています。

平成25年度政務活動費収支報告書集計表 (単位:円)

議席番号	議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
1	菅野 哲也	150,000	30,000		60,000					40,297	14,400	21,853	166,550
2	三宅 啓介	150,000								4,000			4,000
3	岡崎 亨一	150,000		120,140						7,315			127,455
4	深見 昌宏	150,000	17,612							8,915			26,527
5	小川 進一	150,000	5,712						37,890	7,315			50,917
6	高谷 幸男	150,000		39,420					17,813	12,115			69,348
7	小西 義巳	300,000		169,840						54,760		77,776	302,376
8	難波 正吾	300,000			34,175					103,023	120,000	60,000	317,198
9	小西 利一	300,000	111,391							34,957			146,348
10	津神謙太郎	300,000							13,828	9,600		23,621	47,049
11	村木 理英	300,000		62,160	27,305		49,550		32,500	114,180		16,800	302,495
12	頓宮美津子	300,000		347,350						60,235			407,585
13	赤澤 康宏	300,000	89,120						32,850	56,352		65,094	243,416
14	片岡 茂夫	300,000	70,120	30,900						21,665		57,480	180,165
15	塩見 禎章	0											0
16	名木田正昭	300,000	169,197						62,174	61,008			292,379
17	加藤 保博	300,000	69,158	74,740					2,710	27,642		90,000	264,250
18	笠原 武士	300,000	109,619						36,084				145,703
19	根馬 和子	300,000											0
20	荒木 勝美	300,000	55,247						9,290	34,503			99,040
21	山口 久子	150,000	32,252						14,080	32,752		65,881	144,965
22	剣持 堅吾	300,000	89,120							97,319		104,271	290,710
23	大熊 公平	300,000	27,765	141,700						132,964			302,429
24	西森 頼夫	300,000			30,636					67,530	120,000	60,000	278,166
	計	5,850,000	876,313	986,250	152,116	0	49,550	0	259,219	988,447	254,400	642,776	4,209,071

※平成25年度は市議会議員選挙があったため、上半期・下半期に分けて150,000円ずつ交付しています。
※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

編集後記

サッカーワールドカップでわいた6月、7月。
夢と希望を抱いた大会は日本代表には残念な結果となったが、選ばれた23人はそれぞれの想いを胸にしたことと思う。

総社市議会でも官製談合再発防止調査特別委員会の委員が、官製談合防止法等違反という問題を前に市当局に対して改革提言を行っている。自浄能力に期待し、早期の信頼回復に努めてもらいたいと思う。

挑戦には勇気を持った行動しかない。総社の代表として次なる目標に向かい、真剣な市政を期待してやまない。

(岡崎亨一)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長	村木 理英
副委員長	三宅 啓介
委員	菅野 哲也
委員	岡崎 亨一
委員	小川 進一